

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	産業フェア in 善光寺平 2016『健康・高齢化社会を支えるものづくり』
事業主体 (連絡先)	産業フェア in 善光寺平実行委員会 担当：戸谷 保 TEL.026-227-0031 FAX.026-224-2655
事業区分	産業振興・雇用拡大に資する事業(その他地域の特性、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業)
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,851,624 円 (うち支援金：2,888,000 円)

事業内容

日本は2007年に高齢化率が21%を超え、いわゆる“超高齢化社会”を迎えました。今後も国内の高齢化率は上昇が続き、3人に1人は高齢者となります。生活者の健康で安全な暮らしへの意識が年々強まりを見せ、65歳以上に達した団塊世代を中心に「健康長寿」や「アンチエイジング」へのニーズが急速に高まっています。

そのような中、国内トップの健康長寿県である長野県では、その強みを活かし、地方創生の視点から長野県次世代ヘルスケア産業協議会を設立し、次世代のヘルスケア産業の創出を目指しています。また健康づくり県民運動「ACEプロジェクト」が始動し、ますます健康への関心も高まっています。

そこで本フェアは「健康」と「安全」をテーマとしたものづくりを考える機会とし、さまざまな角度から地元企業が健康産業をビジネスチャンスと捉え、関連製品の開発、付加価値づくり、異業種参入等を考えることができるとともに、地域住民がものづくり製品への興味や関心を感じてもらう機会とした。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①県内外からバイヤーを招聘し商談会の開催など販路拡大を図った。出展ブースも過去最大の178ブースを数え、来場者も13,252名に達し、商品PRやビジネスマッチングが積極的に行われた。
- ②県内外の注目度が高い健康関連機器製品等を集め、新製品開発、付加価値づくりの参考となる機会を設けたとともに、健康関連の講演会により、新たなビジネスチャンスを学ぶことができた。
- ③管内の高校生を招待し268名の参加があった。地元企業を知る機会と将来の夢や就職活動に役立つ場を提供できた。
- ④日本のものづくり技術の高さや日常生活への応用など、我が国のものづくり産業の重要性を一般住民に理解してもらうことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

販路開拓と新分野への進出を推進するため、県内外からの来場者の増加を図るとともに、出展企業も首都圏・北信(中野市・飯山市)・北陸方面に広げ、より広域的なフェア開催を目指す。また、次代を担う子ども達(小・中・高)にも地元産業を理解してもらい、人材確保と人材育成につながるような企画を図っていきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【ヘルスケア展示コーナー】

【目標・ねらい】

- ①地元企業の販路拡大
- ②新分野への進出
- ③次代を担う人材確保と育成
- ④地域住民への啓蒙

※自己評価【A】

【理由】

過去最大の来場者数と出展企業数が達成でき、フェアのねらいを企業並びに一般住民に浸透させることができた。